

報告事項エ

第3回船上山少年自然の家・大山青年の家 運営委員会の概要について

第3回船上山少年自然の家・大山青年の家 運営委員会の概要について、別紙のとおり報告します。

平成25年10月28日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

第3回船上山少年自然の家・大山青年の家 運営委員会の概要について

家庭・地域教育課

1 日時

(船上山少年自然の家運営委員会) 9月27日(金) 10:00~12:00

(大山青年の家運営委員会) 10月2日(水) 14:00~16:00

2 概要

今後の青少年社会教育施設のあり方について協議を行い、以下のとおり運営委員会としての意見をとりまとめた。

今後の青少年社会教育施設のあり方

船上山少年自然の家運営委員会

大山青年の家運営委員会

**「学校教育と密接に連携した青少年社会教育施設として、
運営委員会等の意見を聞きながら、県直営で運営」**

①学校教育との連携を強化

- ・従前からの課題に加えて、いじめ、不登校、英語教育など今日的教育課題に対応した体験活動プログラムを実施。
 - ・学習指導要領に準拠した、両施設の特徴を活かした自然体験プログラムを検討。
 - ・子どもたちの成長に寄与する長期宿泊体験活動プログラムを検討。
 - ・教員の人材育成と活用。(施設での勤務経験を学校現場で活用、教員への体験活動指導の場として活用)
 - ・教員の教職経験を活かした社会教育活動の充実。
 - ・学生ボランティアの受入を通じた体験活動の指導者育成。
- ⇒ 上記に対応するためには、現行どおり教員を配置し、県直営で運営することが必要。

②企業、各種団体、NPO、市町村等との連携の強化

- ・可能な事業については外部委託を実施するとともに、共催事業の実施も検討。
- ⇒ 企業、各種団体、NPO、市町村等のノウハウも活かした事業実施。

③運営委員会の常設化

- ・外部委員を交えて、施設運営上の諸課題について継続的に検討する。(事業内容、利用料金 など)
- ⇒ 施設運営に外部の意見、評価を反映。

3 今後の予定

- ・運営委員会のとりまとめ結果を踏まえて、教育委員会としての方針を決定する。
- ・平成26年度から実施予定の事業等については、必要な予算要求を行う。

【参考】委員の構成

船上山少年自然の家運営委員会		大山青年の家運営委員会	
氏名	役職等	氏名	役職等
川口 有美子 (委員長)	鳥取環境大学環境学部環境学科講師	藤田 耕一 (委員長)	島根大学教育学部附属教育支援センター准教授
高橋 義博	倉吉市子ども会育成連絡協議会長	西林 いずみ	県子ども会育成連絡協議会理事(米子市)
重信 眞也	三朝南小学校長(東伯郡小学校長会)	森谷 哲郎	南部町立会見小学校長(西伯郡小学校長会)
小谷 次雄	県公民館連合会長	前田 義機	青少年育成鳥取県民会議委員 (青少年育成推進指導員(大山町))
上田 啓悟	赤碕ダイハツ有限会社 専務	伊澤 大介	有限会社森の国 社長
川部 洋	NPO法人明倫NEXT100 理事長	秦野 博行	一般社団法人米子青年会議所 まちづくり青少年委員会委員長
桑本 圭二	一般財団法人倉吉市教育振興事業団 理事長	杉原 弘一郎	一般財団法人米子市文化財団 理事長
小林 克美	琴浦町教育委員会教育長	山根 浩	大山町教育委員会教育長

9月27日欠席：重信委員、上田委員

10月2日欠席：森谷委員